

## チャイルドシート前面衝突安全性能試験の評価方法(案)

## (1) 評価区分

優	評価項目の4つが の場合。×が1つでもある場合は含まない。
良	評価項目の中で3つが 、1つが の場合、×が1つでもある場合は含まない。
普通	「優」、「良」及び「推奨せず」でない場合。
推奨せず	評価項目の中で1つでも×があった場合。

## (2) 評価項目と評価方法

## &lt;乳児用(ベッド型以外)&gt;

評価項目	個別評価方法	評価
衝突後のチャイルドシート 取付部等の破損状況	破損なし	
	軽微な破損あり(亀裂等)	
	本来の構造をとどめず	×
衝突直後のチャイルドシート の背もたれの角度	60 角度	
	60 < 角度 70	
	70 < 角度	×
衝突直後のダミーの頭部先端 部の移動位置	シートバック上端面内	
	シートバック上端面から73mm 以内に移動	
	シートバック上端面から73mm を超えて移動	×
衝突時にダミーにおいて計測 される胸部合成加速度	55G(539m/s <sup>2</sup> ) 胸部合成加速度	
	55G(539m/s <sup>2</sup> ) < 胸部合成加速度	
衝突時にバックルが解離した。		×
衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した。		×

< 乳児用 ( ベッド型 ) >

評価項目	個別評価方法	評価
衝突後のチャイルドシート取付部等の破損状況	破損なし	
	軽微な破損あり ( 亀裂等 )	
	本来の構造をとどめず	×
拘束状態 ( 頭部のベッドからのはみ出し、ベッド底面の傾き )	ベッド底面が車両後方に傾く ( 頭部のはみ出しなし )	
	ベッドの底面が傾かない ( 頭部のはみ出しなし )	
	ベッドの底面が前方に傾く又は頭部のはみ出し	×
衝突時のダミーの頭部移動量	600mm 移動量	
	600mm < 移動量 750mm	
	750mm < 移動量	×
衝突時にダミーにおいて計測される胸部合成加速度	55G(539m/s <sup>2</sup> ) 胸部合成加速度	
	55G(539m/s <sup>2</sup> ) < 胸部合成加速度	
衝突時にバックルが解離した。		×
衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した。		×

< 幼児用 >

評価項目	個別評価方法	評価
衝突後のチャイルドシート取付部等の破損状況	破損なし	
	軽微な破損あり ( 亀裂等 )	
	本来の構造をとどめず	×
衝突時のダミーの頭部移動量	550mm 移動量	
	550mm < 移動量 700mm	
	700mm < 移動量	×
衝突時のダミーにおいて計測される頭部合成加速度	80G(785 m/s <sup>2</sup> ) 頭部合成加速度	
	80G(785 m/s <sup>2</sup> ) < 頭部合成加速度	
衝突時のダミーにおいて計測される胸部合成加速度	60G(588 m/s <sup>2</sup> ) 胸部合成加速度	
	60G(588 m/s <sup>2</sup> ) < 胸部合成加速度	
衝突時にバックルが解離した。		×
衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した。		×
衝突時において、ベルトが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等ダミーに危害を与える恐れがある。( なお、腹部圧迫については、面圧計 ( 別紙 5 参照 ) を使用して定量的に測定し、評価します。 )		×
衝突時にダミーが前方移動し、シートから脱落した。		×